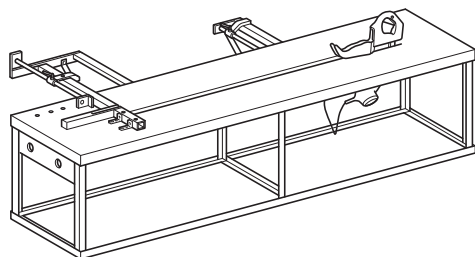




取扱説明書

スライドマルノコ盤

 モデル **LT610**
(電気ブレーキ付)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはスライドマルノコ盤をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ スライドマルノコ盤安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ 本製品の設置	14
・ サブテーブルの取り付け方	15
・ ノコ台固定ボルトの取りはずし	15
・ ガイドバー R の調整	16
・ 刃口板の調整	16
・ ガイドバー L の調整	16
・ 直角の確認	17
・ 目盛調整	17
・ ノコ刃の取り付け・取りはずし方	18
・ ライピングナイフの調整方法	20
・ スイッチの操作	21
・ 切断方法	22
・ 材料の受け	23
・ 集じんについて	23
・ 別販売品の使い方	24
・ クランプの取り付け方（別販売品）	24
・ クランプの使い方	24
・ 傾斜定規の取り付け方	25
・ 使い方	25
・ 当木の取り付け方	25
・ 保守・点検について	26
・ 運搬について	26
・ 本製品をつり上げる場合	26
・ カーボンブラシの交換	27
・ 安全カバーの動作点検と整備	28
・ ご修理の際は	28

主要機能

主要機能	モデル	LT610
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相 100 V
電流		15 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,430 W
回転数		3,700 min ⁻¹ (回転 / 分)
刃物寸法 (使用できるノコ刃)		外径 255 mm ~ 260 mm 内径 25.4 mm 又は 25 mm ノコ身厚さ 1.8 mm 以下
切断能力		38 mm
機体寸法		奥行 2,870 mm × 幅 1,350 mm × 高さ 840 mm
質量		125 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガスパ管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
 - ・ 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
 - ・ ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。
10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

＜異常・故障例＞

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、スライドマルノコ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、クランプで確実に固定して作業してください。
 - ・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
5. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - ・ このような台がないとけがの原因になります。
6. 使用中は、ハンドルを確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
7. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
8. 切断作業は、材料付近に人がいないことを確認し、必ずお一人でスイッチを操作してください。
 - ・ 複数の人で操作すると、思わぬ事故の原因になります。
9. 切断後は、スイッチを切り回転が完全に止まってからハンドルを持ち上げるようにしてください。
 - ・ 回転したまま持ち上げると、けがの原因になります。
10. 使用中は、機械の後側に入らないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
11. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、機体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
6. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
8. 指定工具以外を取り付けて使用しないでください。

注

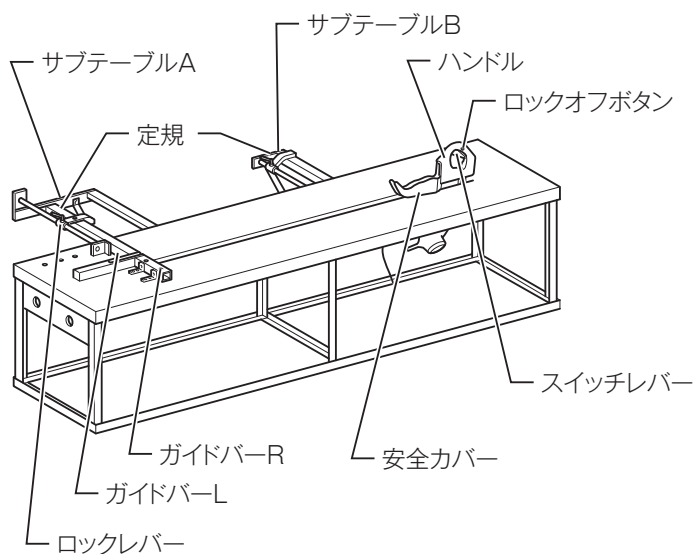
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する最大の長さ		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
0.75 mm ²	20 m	—	—
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ つなぎコードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

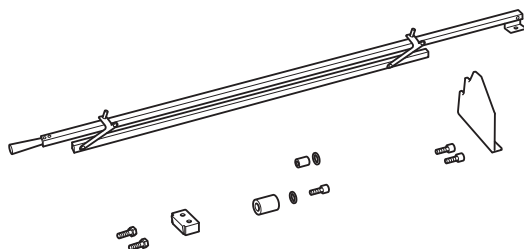
- ・ ボックスレンチ 13
- ・ 六角棒スパナ 6
- ・ チップソー（本製品取付）
A-16134

別販売品のご紹介

- ・ ノコ刃

種類	用途	部品番号	寸法 (mm)		
			外径	内径	歯数
チップソー	合板専用	A-16134	255	25.4	72
	一般木工用	A-01862			50
		A-10338			72
		A-07618	260		64
		A-06622			72
		A-17815			100
	集成材用	A-31083	100		
	縦挽き用	A-34338	255		36

- ・ クランプ
部品番号：13010207



- ・ 傾斜定規
部品番号：13010304



- ・ 補助ローラ
マキタ R300

使い方

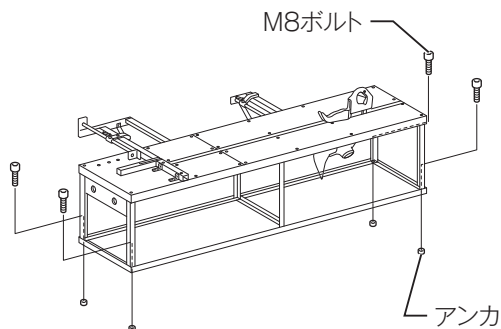
⚠ 警告

組み立て、調整の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントより抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

本製品の設置

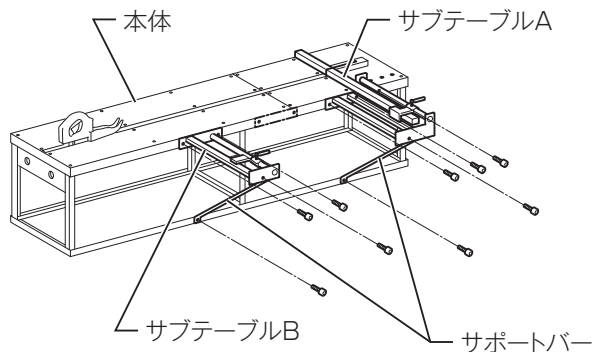
- ・ 本製品を設置される場合、ボルト、アンカなどで床面に確実に固定してください。



使い方

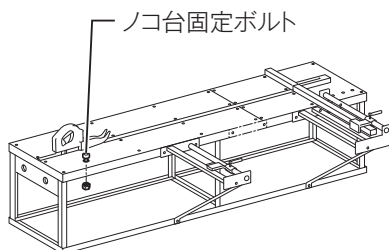
サブテーブルの取り付け方

- ・ 本体側面にサブテーブル A、B を下図のようにボルトで取り付けてください。
 - ・ サポートバーをサブテーブルと本体下部フレーム部にボルトで取り付けてください。
- ※サブテーブル B は、切断する材料により図の X,Y どちらでも取り付けられます。



ノコ台固定ボルトの取りはずし

- ・ 本製品輸送時右図の位置でノコ台を固定しています。このボルトは裏側ダブルナットで固定しています。お使いになる前に取りはずしてください（本製品を移設する場合は、このボルトで固定してください）。

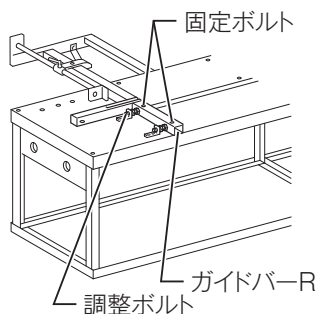


使い方

- ・ 本製品に取り付けているガイドバー R と刃口板は、工場出荷時調整済ですが、万一調整が必要な場合は、以下の要領で調整してください。

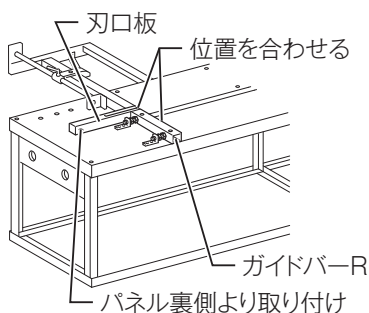
ガイドバー R の調整

- ・ 2本の固定ボルトをゆるめ、刃口に対しガイドバー R が直角になるように直角定規などを使い調整ボルトで調整しボルトを固定してください。



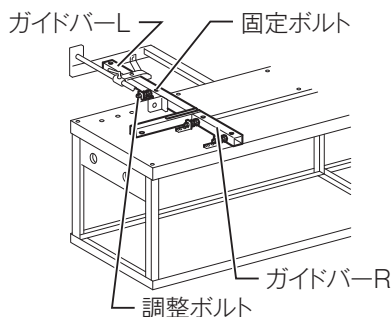
刃口板の調整

- ・ 刃口板の位置をガイドバー R に合わせます。刃口板はパネル裏側から木ネジで取り付けられています。



ガイドバー L の調整

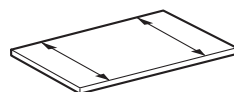
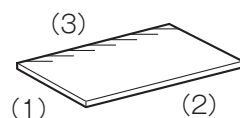
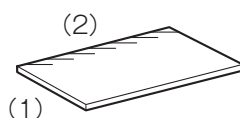
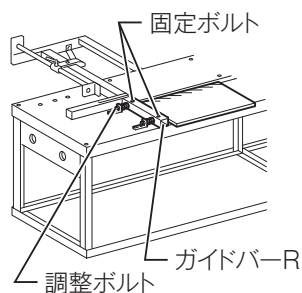
1. 真っ直ぐなものをガイドバー R と L にかかるように当てます。
2. ガイドバー R と L が真っ直ぐになるようにガイドバー L を調整し固定します。



使い方

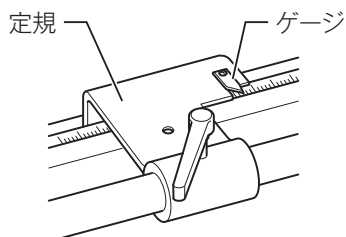
直角の確認

1. 適当な大きさの材料をガイドバー R に当て、切断した面 (1) を基準面とします。
2. 基準面 (1) をガイドバー R に当て、材料の奥側 (2) を切断します。
3. 材料の表面と裏面を逆にして同様に材料を切断します。
4. 材料の上下の寸法を測定します。同じ寸法なら、ガイドバー R は刃口に対して直角です。
5. 寸法が違う場合は調整ボルトで調整した後、固定ボルトで固定します。



目盛調整

- ・ 定規に材料を当て、切断後切った材料の寸法に合わせゲージの取り付け位置を調整してください。



使い方

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本製品に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

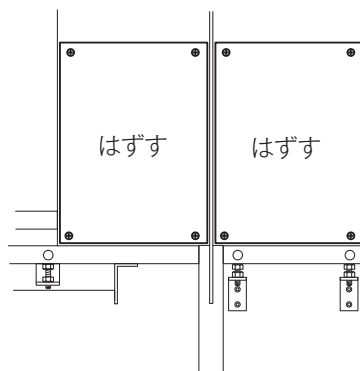
- ・ 矢印に合わせないと、ノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を傷めたり、けがの原因となります。

ノコ刃の着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

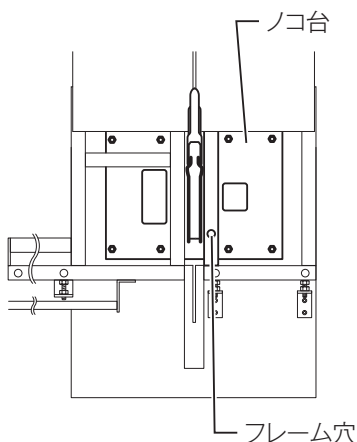
- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因となります。

取りはずし方

- ・ ガイドバーの上にあるパネルを2枚はずします。

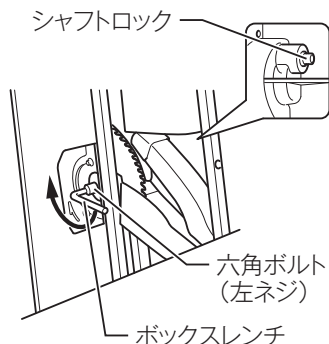


- ・ フレームの穴とノコ台のネジ穴を合わせネジなどでノコ台を固定します (ネジなどは強く締め付けないでください。ノコ台が変形し動きが悪くなる場合があります)。



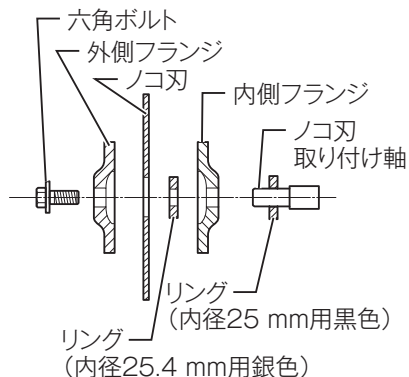
使い方

- ・ ノコ刃を締め付けている六角ボルトにボックスレンチを挿し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを右方向に回して六角ボルト（左ネジ）をゆるめ、六角ボルト、外側フランジ、ノコ刃をはずしてください。安全カバーは下がっているので、上げながら作業してください。



取り付け方

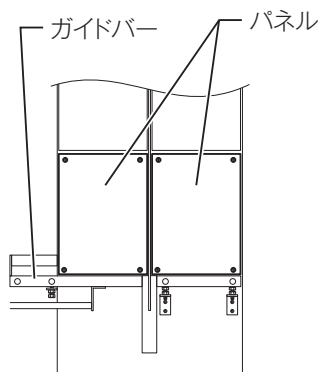
- ・ ノコ刃の取りはずし方の要領でノコ台を固定し、六角ボルトと外側フランジをはずしてください。
- ・ ハンドルの矢印とノコ刃の回転方向を合わせて、ノコ刃をリングにはめてください。
- ・ ノコ刃の内径に合わせて、リング（内径 25.4 mm 用銀色、内径 25 mm 用黒色）を入れ替えてください。
- ・ 外側フランジと、六角ボルトを取り付け、六角ボルトにボックスレンチを挿し込みシャフトロックを押し付けながらボックスレンチを左方向に回して六角ボルト（左ネジ）をしっかり締め付けてください。
- ・ ノコ台を固定しているネジなどをはずし、パネルを元の状態にもどしネジで固定してください。



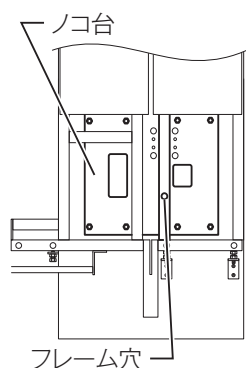
使い方

ライビングナイフの調整方法

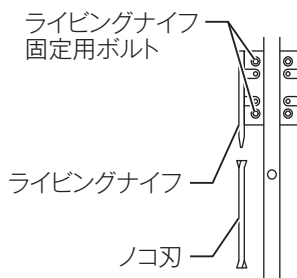
- ・ ノコ刃とライビングナイフの位置が合っていない時は、次のように調整してください。
- ・ ガイドバーの上にあるパネルを2枚はずします。



- ・ フレームの穴とノコ台のネジ穴を合わせネジなどでノコ台を固定してください（ネジなどは強く締め付けないでください。ノコ台が変形し動きが悪くなる場合があります）。



- ・ ライビングナイフを固定している4本のボルトをゆるめ、ライビングナイフがノコ刃の中心になるよう調整してください。
- ・ 調整が終わりましたら、4本のボルトでライビングナイフをしっかり固定してください。
- ・ ノコ台を固定しているネジなどはずしパネルを元の状態にもどしハンドルがスムーズに動くことを確認してください。



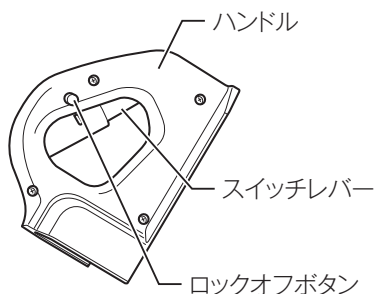
使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを挿し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを挿し込むと急に回りだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態でスイッチレバーを引けば入り、放すと切れます。スイッチレバーを放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



使い方

切断方法

⚠ 警告

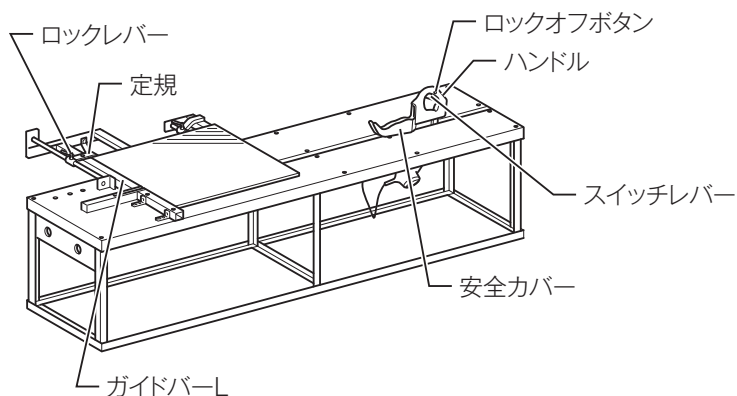
切断する材料は、定規とガイドバーに確実に当てて作業してください。

- ・ 確実にしないと材料が動きけがの原因になります。

⚠ 注意

無理にハンドルを押さえつけたり、左右に強い力を加えないでください。

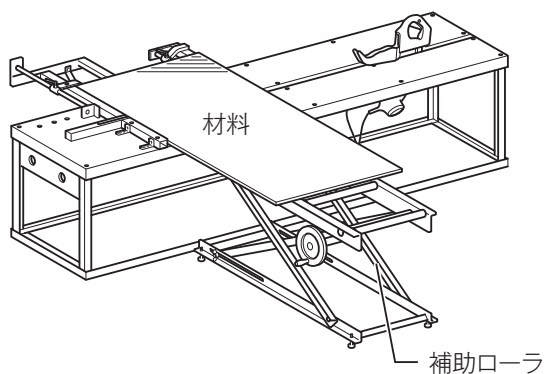
- ・ モーターに無理がかかるばかりでなく本体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。
- ・ 切断幅に合わせ、定規をセットしてください。
- ・ 本製品のテーブル上に切断する材料をのせて、定規とガイドバーに材料を当ててください。
- ・ ハンドルのロックオフボタンを押し込んだ状態でスイッチレバーを引きノコ刃の回転が安定したら切断を始めてください。
- ・ 切り終わったら、その位置でスイッチを切りノコ刃の回転が完全に停止してから、ハンドルを引いて元の位置に戻してください。



使い方

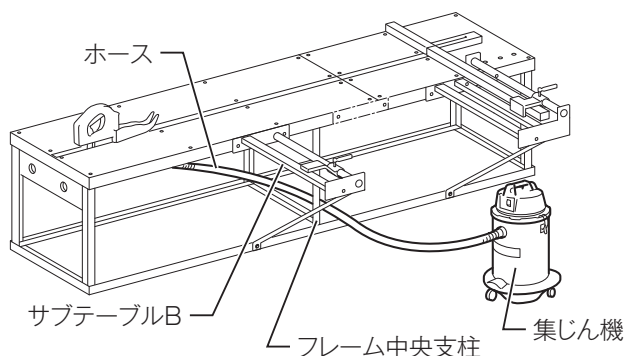
材料の受け

- ・ ガイドバーより幅の広い材料を切断する時は、マキタ補助ローラ R300 などをご利用ください。



集じんについて

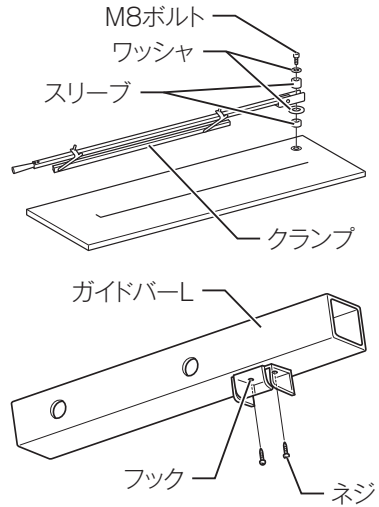
- ・ 本製品をお使いの時、当社集じん機に接続することをお勧めします。
- ・ 集じん機のホースは、下図のようにフレーム中央支柱より後方でサブテーブルBの後方からセットしてください。



別販売品の使い方

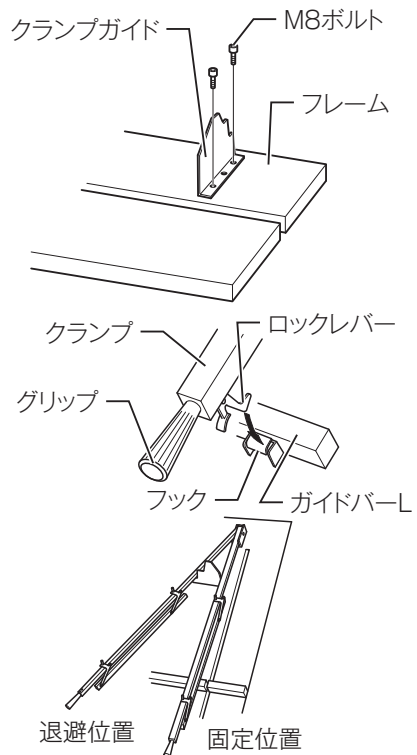
クランプの取り付け方（別販売品）

- ・ フレームにクランプを取り付けます。
- ・ ガイドバーLにフックを取り付けます。
- ・ フレームにクランプガイドを取り付けます。



クランプの使い方

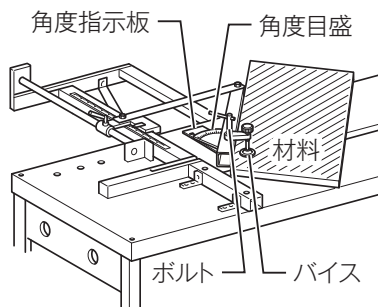
- ・ 材料を固定する時は、グリップを持ちロックレバーをフックに押し付けるようにすれば、クランプが固定されます。
- ・ 解除する場合は、グリップを持ちロックレバーを指で引けば解除されますのでそのまま上に持ち上げクランプを退避位置に移動します。
- ・ クランプで固定できる最大材料厚さは 38 mm です。



別販売品の使い方

傾斜定規の取り付け方

1. 定規の穴にピンを挿し込みます。
2. 角度目盛に合わせ角度指示板を調整し、ボルトで固定します。
定規をスライドすれば角度が変わります。

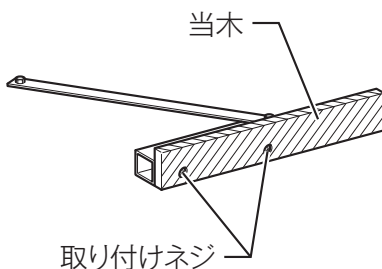


使い方

- ・ 定規を左右にスライドすると傾斜定規の角度が変化します。所定の角度に合わせロックレバーを締め付けます。
- ・ バイスで材料を押さえます。

当木の取り付け方

- ・ 傾斜定規を広くする場合は、お手持ちの当木を傾斜定規に取り付けてください。傾斜定規の下には若干すき間があります。材料がすき間に入る場合も当木をしてください。

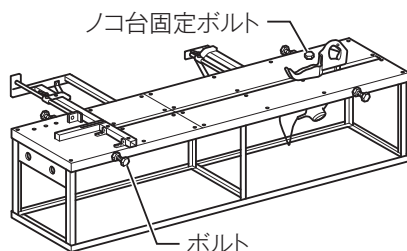


保守・点検について

運搬について

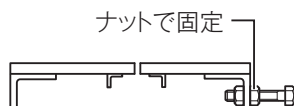
本製品を運搬する時は次のようにしてください。

- ・ 本製品のハンドルを切り始め側に寄せボルトとナットでノコ台を固定してください。
- ・ ボルトとナットは本製品梱包時のノコ台固定ボルトとナットをお使いください。



本製品をつり上げる場合

- ・ 梱包時についていた M12 六角ボルトを右図のように取り付けてください。
- ・ ワイヤやベルトが上記ボルトからはずれないように注意しながら本製品をつり上げてください。

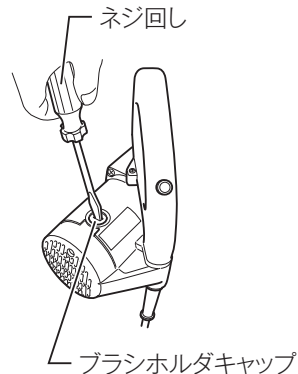
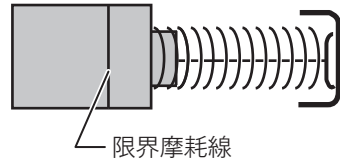


保守・点検について

- ・ 作業終了後は、本体の清掃を行ってください。
※ノコ台スライド部には注油しないでください。
注油するとスライドが悪くなる場合があります。

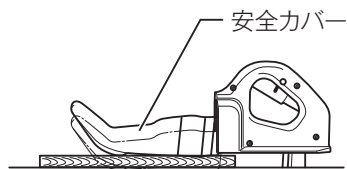
カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



安全カバーの動作点検と整備

- 安全カバーは、材料に当たると自動的に上がり、切り終わってハンドルを戻すと、元に戻ります。この安全カバーの動作が不完全なまま使用したり、故意に任意の位置で固定して使用することは法令により禁止されています。あなたの安全を守るためにも正常な状態で使用してください。動作が異常なときは速やかに修理に出してください。安全カバーに切り粉などが付着してノコ刃先が見にくくなったときは湿った布で切り粉などを拭きとってください。



ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881M42-9
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）